				1414 ± 1	II.	+ 26 +	- AUL - 10	7014444		// 88 5			A 1 1-	
	No. 23 —	1 基本事務事						固別接種事業	-	公的関与			令和6年	
	部局名		康福祉部		課名	健康推		主務課長		河野 貴子		一卜作成者名		予 理恵 第 章 章 章
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務事			助金・負担金・ラ		事業運営方法	<u>V</u> 1			:部委託
	7 714	0 2 /\-\F			4 施設の維持管	理) 6 内	部管理事務・そ	の他	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		一部委託	□ 4 補	助等
		基本構想(政						実施計画				業の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施			療の充実			● 1 該当		令和 年			☑期間	設定なし
		主要施策			建・感染症対策の			<mark>○ 2 非該当</mark>		根拠法令等	予防接続			
		対象(誰を、 何を) し	予防接種	法に基づ 対象です。	く対象年齢で、阿源	皮市に住身	民票があ	る方と、定期予	防接種は	こより引き起され	た副反応	により障害を残 ^っ	すなどの仮	建康被害が生
	事業の 対象・目的		最終的	阿波市医 じて法律 [・]	師会、徳島県広域 で定められた金額	化医療機 が支給さ	幾関での れます。	実施により、感染	染症の流	行を未然に防止	し、健康は	増進を図ります。	健康被害	の程度に応
PL		う状態にしたいのか)	今年度	実施期間(クチンを除 です。	は通年です。接種費! く)接種者数の集計!	用は予防技 こより未接	妾種法に 種者の排	基づく接種年齢、持 巴握ができます。未	接種期間 [∙] 法接種者(であれば無料です 三対し、電話やハカ	。(インフノ 「キで接種	レエンザ、新型コロ 勧奨をします。健原	ナ、高齢者 東被害認定	用肺炎球菌ワ 者は現在2名
A		具体的にどの	ような活	動を行し	ヽますか。(主なも	の5つま	きで)							
N		① 徳島県医師	师会、阿 》	皮市医師:	会との契約事務を	行います。	0							
	事業の	② 麻しん風しん混	启、BCG、	_種混合、四 [;]	種混合、日本脳炎、小児用	肺炎球菌、ヒ	≤ブ、子宮頸	質がん、水痘等の予防接	接種対象者へ	○個人通知及び広報、降	可波市HP等I	による接種勧奨を行ない	います。	
	活動内容	③ 高齢者用服	肺炎球菌	ワクチンの	の対象者に個別通	知、インフ	フルエン・	ザ予防接種等の	広報、ク	ーブルテレビ、፣	ポスター指	掲示等による接種	動奨を行	ないます。
		④ 接種後の	台帳記入	とコンピュ	.一タ一入力を行い	ます。								
		⑤ 健康被害症	が起こった	∠場合、予	防接種によるもの	か因果関	関係を各	分野の専門家と	審議し、	認定を受けた対	象者から	の請求を受付・約	合付します	•
		指標名		計算式又	スは指標設定理由	単位		令和 4	年度	令和 5	年度	令和 6	年度	最終目標
	数値目標 (事業の目的	予防接種率 M	1RⅡ期	接種者数	··接種対象者	%	目標 実績			95 90	9.		95	100
	及び活動内	—————————————————————————————————————		回数			目標	E .		4		4	4	4
	容の達成度 を測る指標)			<u> </u>			実績			4		4		
		受給者数		受給者数		人	目標 実績			2		2	2	2
	予算費目	会 計	l	一般	수計	款	- 111	8	Т		生 費	目 2	予防費	
	7开吴口	Д	令:			令和	5	年度決算	令和		度予算	ППГ	備考	
		国庫支出			465 千円			726 千円		-	.450 千円	9	p(15 · 5	
		県支出	金		3.558 千円			3.615 +⊬	3	3	.984 千円	9		
		地方	債		千円			千円	3		/ 千円	9		
D	直接事業費	その他特定財			1,184 千円			1,205 千円	3	1	,329 ∓₽	9		
0		一般財	源		72,721 千円			78,623 ∓⊬	3	85	,058 ↑ F	<u> </u>		
		計(A)			77,928 千円			84,169 千円	3	91	<mark>,821</mark> 千円	9		
		正職員工数·紹	登費 0.6	67 人	4,030 千円	0.667	' 人	4,042 千円	0.90	0 人 5	<mark>,357</mark> 千円	9		į
	人件費(B)	会計年度任用職員職												
		会計年度任用職員工数·	経費 0.0	00 人	0 千円	0.000	入	0 千円	0.00	0 人	0 千円	9		j
	全体事業	業費(A+B)			81,958 千円		-	88,211 千円	3	97	<mark>,178</mark> 千円	9		

				チェ	ック項目				一次	評価		_	·次評価(の説明			二次	評価	
		1.				性が確保できる も影響は大きく ⁷		O 4	りない	● 大	きい	感染症の め、予防	妾種による			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	況の中、次年	F度以降実	施する緊急性が調	認められない。	O_t	ほい	● ある	3	防が必要	です。			0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の向]上のために、	現在の手段	、方法等の改善の	余地がある。	O å	53	なり	い					0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ			隣自治体と比較し	してニーズを	O 1	る	• (1)	ない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	現するために	、事業内容	が必ずしも適切と	はいえない。	0 i	えない	● い	える	予防接種 療費の増				0	いえない	•	いえる
	有効	2. }	事業内容のマンネ	リ化など、施策	への貢献度が	が著しく高いとはい <i>え</i>	ない。	Ο ι	えない	○ い	える	す。	75 C 193 V			0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	施策の中で類	頁似・重複	した事務事業がる	存在する。	O 9	る	● し#	ない					0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	しても成果の	向上が期	待できない。		0 7	きない	● Ti	きる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	して進捗状況	記が劣って	いると思う。		OE	標に比	べて劣って	いる	目標達成 接種者に				0	目標に比り	て劣	っている
	達世	2.	目標設定に対	して成果があ	ちまり上が	っていないと思っ	う 。	O ъ	まり上か	っていない	١	います。	10 JX (± E/	.XE11.	6) (0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	して概ね目標	票を達成し	ていると思う。		〇 根	祝達成	している]				0	概ね達成	している	3
		4.	目標設定に対	して十分に目	標を達成	していると思う。	,	O +	-分達成	している						•	十分達成	してい	ఠ
		1.	効果に比べて	コストが高し	١,			〇 a	高い	適	当	制度改正 接種率の				0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	のノウハウャ)新たな制	度を活用できる。	,	0 7		● で	きない	ます。	17762	~0 <i>%</i> 2.547	3.00.7	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係で	き、実施手	段等を見直す余均	也がある。	O å	5 3	なり	l,					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	こどにより	コスト削減の余均	 也がある。	O å	53	な	い]				0	ある	•	ない
						欠評価	_							次評価					
	評値	西点	必要性 4	有効性 4	達成度 4		総合評	価	Ų	<u>必要性</u> 4	1	与効性	達成 4		<mark>効率性</mark> ◢	ŧ	総	合評 ^	価
	今往	 发の	<u>+</u> ∴ 拡大·充		•		A○ 民間委託	 £等	0	<u>+</u> 拡大∙:	 充実		4 _ 統持	〇 方	 法改善	<u> </u>	○ 民 間	<u>A</u> 【委託	 f.等
Λ		向性	○ 縮小	○ 統合/終	期設定	○ 廃止/休止			O	縮小	0	統合/終			止/休.	_			
C			子どもは病気	こかかると、重	症化するこ	とがあります。予	防接種法が制造	定された	: :		二次	評価での	指摘事項	頁及び-	一次評	価と	の相違点	į	
ACTION		面の !題	必要があります 接種の時期を	す。効果的な時 <u>逃さないよう</u> 変	f期に広報 [.] f象者に通	種でしたが、現在 性を理解してもらい やACNを通じて接 知を送付していま	種勧奨を実施 す。	し、定期	各于			最提供や、(定を受け <i>た</i>							
N		革案 実行 ·画	関で接種するた	め、個人通知や て対象者に情報	広報、ケース 提供し、接続	こ加え、対象者は各 ブルテレビ、健診、原 重の必要性を理解し ます。	医療機関との連携	等あら	[₹] 円滑			て実施しま		ⅎⅆℴ℄⅀	京小'文'	1701	いるみノフ	i文C	O す 伤で
		員会 事項																	

	No. 23 —	2 基本事務事	業名日子	呆健事 :	<u></u>		事 務事業	生名 好i	産婦·乳幼児	相談指	道事業	公的関与	4 シ	 '一卜作成日	令和6年	6月5日
	部局名		康福祉部		課名		す切する 健康推進		主務課		_	野貴子		<u></u>		野円
	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	○ 1 ソフト事			3 経常的事				金 負担金				☑ 1 億			部委託
	事業区分	© 2 /\-F			4 施設の維				管理事務・		┪ 事業選	置営方法		- ロ -部委託		助等
		基本構想(政					<u> </u>	<u> </u>	実施計画		'			の開始・終了	<u> </u>	1,201 ()
	総合計画	基本計画(施					-	(1 該当	=	令和	年		和年	川期間	設定なし
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	主要施策			<u>////////////////////////////////////</u>				2 非該当			法令等	母子保健			17,70
		対象(誰た	-		礼幼児、不妊·	·不育症	E治療者									
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし			より良い産前 の保持増進2							ら子育て期	までを中心	心に切れ目の	ない支援を	そ提供すること
P L		たいのか)												引職が保健指導 こつなげていきる		:で解消できる
A		具体的にどの														
N		0 11 11 1										-				
		 ① 保健師・助産師・管理栄養士による、妊婦と胎児の健康・食事・出産についての指導を行います。 ② 妊産婦の問診と保健指導(異常の早期発見、正しい知識、乳房・乳頭の手入れ、家族計画、精神保健に関することなど)を行います。 ③ 乳幼児の健康状態の観察と保護者への指導(新生児の発育、発達、栄養および乳房管理、清潔面、生活環境づくりなど)を行います。 ④ 支援が必要な家庭に対して、関係機関と連携し、適切なサービスにつなげます。 ⑤ 不妊・不育症治療にかかる経費の一部助成を行います。 														
	活動内容															
		<u> </u>						ービス	こつなげます	0						
)							1 1 1						,	
		指標名			スは指標設定		単位		令和	4 年		令和 5		令和 6		最終目標
	数値目標 (事業の目的	新生児・乳児訪問		回目の対象の乳	訪問数÷家愿 .幼児数	≦訪問	%	目標 実績			100 99.3		100 100		100	
	及び活動内							目標								
	容の達成度 を測る指標)							実績								
	で別の旧宗)							目標								
	2 2 2 2	A =1		ÁD	A =1		+4	実績	,, , , ,		1	/D /st /t= /	L =##		/D /24 = 4	k ##
	予算費目	会計			会計	1 <i>hh</i>	款	4 衛		+ I ^	項 1	保健衛生		目 4	保健事業	美賞 一
		园 庄 士 山	令 和		4 年度		令和	5	年度決算		<u>計和</u>	•	度予算 770 75		備考	
		国庫支出県支出	金			千円 千円			682 1 287 1	円			779 千円 373 千円	+		
		<u>宗 又 山</u> 地 方	_ <u>亚</u> 債		322	千円				円		•	5/3 十 <u>口</u> 千円	+		
D	直接事業費	その他特定則			500) 千円				円			<u></u> 千円	†		
O		一般財	·源) 千円			3.159 T			2 !	907 千円	†		
		計(A)	W.		,	千円			4,128 T				<mark>059</mark> 千円	1		
		正職員工数·約	圣費 0.30	00 人		千円	0.300	人	<u> </u>		.100 人		548 千円	1		j
	人件費(B)	会計年度任用職員			,							,		1		j
		会計年度任用職員工数	·経費	人	C	千円		人	0 =	円	人		0 千円]		j
	全体事業	業費(A+B)			4,656	千円			<mark>5,946</mark> ₹	円 💮		10,	<mark>607</mark> 千円			

					チェック項					一次	評価			-次評価 σ				二次	評価	
		1.					ヾ確保できる等 シ響は大きくな		少な	:11	● 大き	l1	に深く関係	乳幼児相i 系する事業	である	ため、	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政制	犬況の中、	次年度以	.降実施す	る緊急性が認	忍められない。	○ ない		ある			主体にな・ ・公正性を			0	ない	•	ある
	要性	3.	住民満足度の「	向上のために	こ、現在 <i>の</i>	手段、方	法等の改善の	余地がある。	<u></u>		● ない		要があり	ます。妊婦	健診実	施に	0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの上回るサート			、近隣自	治体と比較し	してニーズを	いる		● いな	い	より、疾病 増進が図	うの予防と lれます。	健康の	保持	0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を第	実現するため	めに、事業	(内容が必	ずしも適切とロ	はいえない。	いえ	ない	いえる	3		健康の保 見・治療に			0	いえない	•	いえる
		2. 🗄	事業内容のマンネ	ネリ化など、	施策への貢	献度が著し	く高いとはいえ	ない。	いえ	ない	いえ	3	ができてい	います。ま	た、保保	建師・	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中	で類似・	重複した	- 事務事業が存	字在する。	○ する		しない	۱,		管理栄養士 ことで様々			0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続を	をしても成	果の向上	が期待で	ごきない。		○ でき	ない	● でき	3	みを聞き. ができて	、子育ての います。)孤立化	予防	0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗	状況が劣	っている	と思う。		○ 目標	に比べ	て劣ってい	- る		おむね達.			0	目標に比り	て劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果	があまり	上がって	いないと思う	5 。	○ あま!)上がっ	ていない		連携を取	りながら、	利用者	数の	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね	目標を達	成してし	いると思う。		概ね	達成し	ている		増加に努 す。	めていく必	少安があ	りま	0	概ね達成し	ってい	3
		4.	目標設定に対	対して十分	に目標を	達成して	いると思う。		〇十分	·達成し	ている						•	十分達成	してい	
		1.	効果に比べて	てコストが	高い。				○ 高い	1	適当	i	妊産婦・乳	乳幼児相談 育環境や			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハ	ウや新た	な制度を	た活用できる。		○ でき	3	◎ でき	ない	把握し、	早期に必要	を支援	につ	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関	係で、実	施手段等	を見直す余 均	也がある。	<u></u>		● ない			とができる。 効果があり		ハコス	0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変	更などに	よりコス	スト削減の余均	也がある。	<u></u>		● ない]				0	ある	•	ない
			_			一次評	価						•	=;	次評価					
	評価	計	必要性	有効性	達	成度	効率性	総合評	価	必	要性	1	与効性	達成度	支	効率性	ŧ	総	合評	価
			4	4	TD 1 1 2 44 14	3	4	A	r leb		4		4	4	$\overline{}$	4	_	0 0	<u> </u>	r hh
		後の 句性	○ 拡大・充		現状維持		方法改善	〇 民間委託	t寺		<u>拡大•充</u>		● 現状			法改善		<u>○ 民間</u>]安計	t寺
A	יוכל	刊工	○ 稲小	○ 統合	/終期設	正 〇	廃止/休止			0	縮小		統合/終 評価での			止/休.		の担告よ		
CT	ᅶᇛ	面の	妊娠期から子	・育て期にも	ある対象者	に切れ目	目のない支援を	を行うことで、対	象者の		•	<u>一火</u>	計画での	1日刊 中华	双い	人 計	ЩС	が旧達点		
-		田石	疑問や不安の	の解消に努	め、養育団	B難家庭(の把握と支援に	こつなげていく	必要があ											
Ö		, KCZ	ります。また、	効果的な情	青報発信を	をしていく	必要があります	す。					期にある対							
Ň	改善	 草案	様々な相談ケ	ースにあっ	たサービ	スが提供	できるよう、ス	タッフのスキル	アップを	ことて	ご、対象者 #>/售起 <i>答</i>	ものす よ/= た	「安解消等 ・ シェオ	に努め、	事業の	充実や技	推進に	こ努めます	上。併	·せて、積
	と実	€行	図り、妊産婦、	、乳幼児相	談事業の	充実に努	めます。また、	妊娠届出、乳 登録者数の増	児健診時	1型口分	/よ 月 秋 光	旧ど	りってりっ							
	計		寺に母士于順 します。	マナンリーは:	ທ.ເອທ.ໄດ	ノ同邓で「	」し、、作人で呼ばりし、	- 豆球日奴の増	当をなり											
		会事項																		

	No. 23 —	3 基本事務事	業名母子	保健事	 業	事	務事業	名 乳幼	児健診・股関節	脱臼検診薬	事業 公的関	9 4 シ	一卜作成日	令和6年	6月5日
	部局名		康福祉	邰	課名	健	康推進	果	主務課長	名	河野 貴子	- シ-		藤	野 円
	**	○ 1 ソフト	事業	0	3 経常的事務	務事業	O 5	補助金	金•負担金•支	援	ᆀᄯᄭᆕᅶᄼᆜᅩᆪᅩ	✓ 1 i	営	□ 3 全	部委託
	事業区分	0211-1		0	4 施設の維持	寺管理			管理事務・そ(業運営方法	□ 2 -	 -部委託		助等
		基本構想(政	策) 1.	さしく優	単やかな阿波				実施計画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施						0	1 該当	수	ì和 年				設定なし
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	主要施策			建の充実			_	2 非該当		艮拠法令等		,		17,7,0
		計会(能な			記、2歳児、3歳!	児を対象	くに行って	•							
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	乳幼児に 乳児(主	ニ対する健康診 に2~5か月児)	査を実施 に対して	ōし、乳幼 「、専門臣	」児の発 Eによる	ê育∙発達を確 ・	認し保護? 診を行い	者に対して相談 、異常の早期	淡を行い、乳 発見・早期	し幼児の健康(治療に努めま	呆持∙増進 す。	を図ります。
PL		たいのか)	今年度	実施体制	別の見直しを行い	ハ、健康	診査の発	定実を図	切ります。						
A					いますか。(主										
N		① 身体計測	、内科診	察、歯科	診察、保健・栄養	養•歯科	相談を行	います	0						
	事業の	② 1歳6か月	見健診、	3歳児健	診では言語聴り	覚士によ	る聴覚権	食査及び	ゾことばの相談	を行いま	す。				
	活動内容	③ 1歳6か月	見健診、	2歳児健	診、3歳児健診	では希望	望者にフ	ッ素塗	布を行います。						
)	よる股関	節脱臼検	診では、超音波	皮検査に.	より、異常	常の早	期発見·早期治	療に努め	ます。				
		5													
		指標名	3	計算式	又は指標設定理	里由 単	单位		令和 4		令和 5		令和 6		最終目標
	数値目標	①乳児健診受診率 ②股関節脱臼検討		受診者数	女÷対象者数			目標_	198		198		198	295	
	(事業の目的							<u>実績</u>	191.5	2100		<u>2</u> 89.		100	
	及び活動内 容の達成度	③1歳6か月児健 ④2歳児健診受診		受診者数	女÷対象者数		υ <u>ω</u>	目標	100	100		100		100	
	を測る指標)	一						<u>実績</u> 目標	<u>31</u> 00	<u>4</u> 97.7	398.4	<u>4</u> 94.8		100	
		⑤3歳児健診受診	率	受診者数	女÷対象者数			<u>口际</u> 実績		93.9	-	96.1		100	
	予算費目	会 計		一般	会計			2010 4 衛生	 E費	項	1 保健律		目 4	保健事業	美費
			令	和	4 年度決	:算 イ	令和	5	年度決算	令和	6 £	F度予算		備考	
		国庫支出	金		641	千円			千円			千円			
		県 支 出	金		144	千円			128 千円			199 千円			
	古拉古米弗	地 方	債			千円			千円			千円	1		
D	直接事業費	その他特定則	オ源			千円			千円			千円			
0		一般財	源		6,437	千円			5,097 千円		ļ	5,756 千円			
		計(A)			7,222	千円			5,225 千円		;	<mark>5,955</mark> 千円			
		正職員工数·約	圣費 3.	400 人	20,544	千円 3	3.400 人		20,603 千円	2.000		<mark>1,905</mark> 千円			
	人件費(B)	会計年度任用職員	職種	看護師((健康推進課)		看護師	瓦(健康	推進課)	看記	護師(健康推	進課)			
		会計年度任用職員工数	t·経費 1.	000 人	2,104	千円 1	人 000.	.	2,137 千円	1.000	人	<mark>2,707</mark> 千円			
	全体事業	業費(A+B)			29,870	千円			27,965 千円		20	<mark>0,567</mark> 千円			

				チ ェ	ック項目						·次評·	価		_	·次評価 <i>0</i>	ノ圭貸田	8		二次	≕퓨	i
		1.	市が実施しな			性がる	確保できる等	等、他の実施							沙における!						
			主体があり、						0	少ない	•	大き	い	や股関節	脱臼検診に	おける	超音波	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	祝の中、次年	F度以降実	施する	る緊急性が認	忍められない。	0	ない	•	ある		期治療に	J、異常の早 繋げることか	でき	ていま	0	ない	•	ある
	性		住民満足度の向						•	ある) ない			保健・栄養・ 保護者の不			0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ			隣自	治体と比較し	ンてニーズを 	0	いる	•	いな	い		人必要性は			0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	ミ現するために	、事業内容	が必す	ずしも適切とに	まいえない 。	0	いえな	ıı 🧿	いえ	る		診から健認を			0	いえない	•	いえる
	有	2. 4	事業内容のマンネ	り化など、施策	への貢献度が	著しく	く高いとはいえ	ない。	0	いえな	ı (いえ	る	うことがて	ごきます。 ま	きた、タ	医病の	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	施策の中で舞	頁似•重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	0	しない	い		し、早期治療 につながっ			0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	しても成果の	の向上が期	待でる	きない。	_	0	できな	ı, C	できる	る					0	できない	•	できる
C		1.	目標設定に対	して進捗状況	兄が劣って	いる。	<u>と思う。</u>		0	目標に	比べて	劣ってい	いる		診者に対連絡を行			0	目標に比べ	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	して成果があ	あまり上が	ってし	いないと思う	5 。	0	あまり」	ニがって	いない		診勧奨や	家庭訪問	等を行	テい、個	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	して概ね目標	票を達成し	ている	ると思う。		0	概ね達	成して	 いる			ーをしてい 健診の受詞			0	概ね達成	してい	გ
		4.	目標設定に対	けして十分に目	目標を達成	してし	いると思う。		0	十分适	成して	いる			対策を行			0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高い	, \ _o				0	高い	0	適当	á		され は は は は は は は は は は は は は は は は り は り			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	のノウハウ	や新たな制	度を決	活用できる。		•	できる	C) できた	ない	の見直し	を行ってお	り、交	物率的に	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	:成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余均	也がある。	0	ある	0	ない		健診を展 ます。	開できるよ	つ労の	めてい	0	ある	0	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	ょどにより	コス	ト削減の余均	世がある。	0	ある	•) ない]				0	ある	•	ない
					一次	文評個	ш							•	二;	欠評(西				
	評値	計	必要性	有効性	達成度		効率性	総合評	価		必要		1	与効性	達成度	Ę	効率性	±	総	合評	価
			3	<u>4</u>	3		<u>3</u>	A	~ hh		<u>4</u>		<u> </u>	4 • TBJ	4	$\overline{}$	<u>4</u> +`+¬-⇒	<u>-</u>		<u>A</u>	1 hh
		負性	○ 拡大·充○ 縮小	実			方法改善 廃止/休止	○ 民間委託	<u>t寺</u>		<u>○ 拡</u> ○ 縮	大·充 小		● 現 統合/終			<u>方法改善</u> 廃止/休	_	<u>○ 民間</u>]安記	t寺 ———
A	יו ני	711	○ 州日小1,			<u> </u>	光工/ 小工				<u> </u>				指摘事項				の相違と	i	
ACTIO		面の	受診率向上の があります。ま	ために、未受た、健診を効	診者を把握 果的に実施	し、継 するが	*続した受診{ ために健診体	動奨と指導を図 ×制の調整を図	る必 ります	す。 ■ 利		な情報	発信	に努め、	受診率向」	こにつ	なげます	·。未:	受診者に	対し ⁻	
N		革案 実行 画	未受診者に対の見直しを行う	し、受診勧奨(うことで、健診	の電話連絡 事業の充実	、家庭に努る	庭訪問を実施 めます。	します。また、	健診区	内容	た、東	安性に 界門医(- Juv の確f	保により、	得られるよ 異常の早期	ジュー! 胡発見	動さかける 見、早期治	ど1TU 分療に	い、受診に	-)/ ₀	いまり。
		員会 i事項																			

	No. 23 —	4 基本事務事	業名日	2.保健事:	<u>*</u>	事 彩	医重業名	妊婦	- 産婦 - 到	児健診	多委託事業	公的関与	4 5	 ノート作成日	令和6年	6月6日
	部局名		康福祉		課名		推進課		主務語			可野 貴子		<u> </u>		ちひろ
		① 1 ソフト ② 1 ソフト ③ 1 ソフト 3		•	3 経常的事務		111		2. 負担金		竝			<u> </u>		部委託
	事業区分	0211-1			4 施設の維持				理事務		- 里辛	運営方法				助等
		基本構想(政				, , , ,	0 0 1	1 HILE	実施計					業の開始・終了	<u> </u>	וי נפנו
	総合計画	基本計画(施						0	1 該当		令和			on 年	□期間	設定なし
	1.5 [] []	主要施策		母子保健					2 非該当	<u> </u>		処法令等	母子保恆			
		対象(誰た			対象としていま	す。				_	, , , , ,					
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的		婦・乳児に対す。 た、早期発見に							行うことによ	り、疾病の	の予防・心身の	健康の保持	持増進を図り
P L		たいのか)	今年度	妊婦健診	を14回、産婦	健康∙乳児	見健診を名	各2回	実施し、好	壬婦・産	産婦・乳児(の健康管理	を図ります	r.		
A		具体的にどの	りような流	舌動を行し	ハますか。(主	なもの5	つまで)									
N		① 里帰り等	で、県外で	で妊婦一般	段健康診査∙産幼	帰健康診	査を受診	された	方に費用	の一部	部を助成し	<i>、</i> ます。				
	事業の				内の医療機関で											
	活動内容													指導等の支援を		0
			診査結果	により、彦	産後鬱や虐待等	の予防を	目的に、	対象	者への早期	朝発見	・早期介え	人を行い、心	身の健康	₹管理を図ります	- 。	
		5														
		指標4	<u> </u>	計算式	又は指標設定理	由 単			令和	4 £	丰度	令和 5		令和 6		最終目標
		妊婦一般健康診3	查受診率	延べ受診者	f数÷受診票交付权	效		標			80		80		80	
	(事業の目的 及び活動内					_		<u>積</u> 標			85.9		74.6 80		80	
	次の活動内容の達成度	産婦健康診査受調	诊 率	延べ受診者	f数÷受診票交付权	√数 9	_	<u>作 </u> 績					56		- 60	
	を測る指標)							·順 標			90		90		70	
		乳児一般健康診療	查受診率	延べ受診者	f数÷受診票交付权	攻数		績			98.9		63.9			
	予算費目	会計				•	款				項			目		
			令	·和 ·	4 年度決	算	和	5	年度決	算	令和	6 年	度予算		備考	
	_	国庫支出	金			千円			340	千円				妊婦一般健		
		県 支 出	金			千円				千円				健康診査、乳		
	直接事業費	地 方	債	-		千円				千円			千円	診率は、転出		
D	但汉于木具	その他特定則				千円				千円			千円	凵しがセ スナ_ 4		
0		一 般 財	源	-	18,212				15,475				677 千円	11++>2+>1	人又吵干	-18 100 /01
		計(A)			18,212				15,815				. <mark>527</mark> 千円	1		
		正職員工数:		100 人	604	千円 0.	100 人		606	千円	0.100 丿		604 千円	4		
	人件費(B)	臨時·嘱託職		ı		- m	ı		0	- F	-		0	_		ļ
	△/+車÷	臨時・嘱託工数・	社 質	人		千円	人			千円	<u>ر</u>		0 千円	—		
	至仲争	<u>業費(A+B)</u>			18,816	十円			16,421	十円		21	<mark>131</mark> 千円	1		

				エ	- いわ话口					' /\	≣ਹਾ /#E			を証法で	N = X □ F	1		— \h	=17.72	
		1 -	+*中#+ <i>+</i>		エック項目	다바ㅗ	汀本川・ナフタ	ケールの中状		一次	晋十四			·次評価の				二次	<u>高半1</u> [[
		١.					「確保できる等 「響は大きくな		〇 少7	はい	● 大き		健康診査 防と健康	の保持増	進、対	象者へ	0	少ない	0	大きい
	必要	2.	厳しい財政が	犬況の中、次	年度以降第	実施す	る緊急性が認	忍められない。	○ ない	١.	ある		の早期介	入が図れ	ます。		0	ない	•	ある
	要性						法等の改善の		೦ ಹತ	5	● ない	1					0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの上回るサート			丘隣自	治体と比較し	ンてニーズを 	○ wa	5	● いな	(L)					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を写	実現するために	こ、事業内容	字が必	ずしも適切とに	まいえない 。	O 117	はない	● いえ	る	妊婦、産り 経済的な	婦、乳児 <i>の</i> 支援が図			0	いえない	•	いえる
		2. 4	事業内容のマンネ	ネリ化など、施:	策への貢献度	が著し	く高いとはいえ	ない。	O 117	はない	● いえ	る	14±10-1410-04	∠ 1,0,70 ⊡	1000	0	0	いえない	•	いえる
CH	効性	3.	市が実施する	る施策の中で	類似・重複	复した	- 事務事業が存	存在する。	O đ ã	5	しな	い					0	する	•	しない
Ε		4.	事業の継続を	をしても成果	の向上が期	明待で	ごきない。		<u></u> ਾ ਵੰ	ない	● でき	る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状	況が劣って	こいる	と思う。		〇目相	票に比へ	て劣ってし	る	対象者へ	各健康診 多後の心身			0	目標に比べ	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果が	あまり上た	バって	いないと思う	5.	○ あま	り上がつ	ていない		健•栄養技	旨導等のう	支援の		0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	標を達成し	してし	いると思う。		〇 概	a達成l	ている		凶る必要 	があります	Γ ₀		0	概ね達成	してい	გ
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	戈して	いると思う。		● +4	}達成し	している						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが高	い。				〇 高(,١	⑥ 適当	á	妊婦・産妒 受診を補	帚・乳児の 助すること			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな制	制度を	た活用できる。		ਂ ਹੋ ਹੋ	:a	● でき	ない	態の把握	や、疾病	等の早	期発見	0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関係	で、実施引	F段等	Fを見直す余均	也がある。	O	5	ない	ı	により、ほ	፟ 逐療費の削 の維持増			0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更	などにより	ノコス	く ト削減の余均	也がある。	○ あ る	6	● ない	1	す。				0	ある	•	ない
					_	次評	価							=:	次評価					
	電車右	—— 西点	必要性	有効性	達成	叓	効率性	総合評	価	业	要性	1	剪効性	達成原	五千	効率性	ŧ	総	合評	価
			4	4	4		4	Α			4	<u> </u>	4	2		4_			Α	
		後の	○ 拡大・充		状維持		方法改善	〇 民間委託	壬等	_	拡大・充		〇 現状			方法改善		〇 民間]委	壬等
A	万师	<u> </u>	〇 縮小	○ 統合/約	終期設定		廃止/休止			0	縮小		統合/終			<u> </u>				
C			は多くなる	+ナエ田 級」 ナナ	こニーレズミ	立=◇!-	こっかば 亜比	導者に対しては	+ *****			二次	評価での	指摘事項	及び	一次評	<u>価と</u>	の相違点	Į.	
T		凹し						等有に対しては −に行う必要が		l										
	課	題	す。	不足不良	チャンング	V X 18	女サビアコムノ	[二]] 7起·女/3	10076											
0										各健	康診査の)結果	をもとに、	母子の疾	病予	坊∙健康倪	杲持、	増進のた	め、	早期に適
N	改革	革案	要指導者に対	付て、電話連	絡、家庭訪	問等	の機会を通し	て支援を行いま	きす。ま	切な	支援につ	なげ	、継続した	支援を行	います	•				
	と実	ミ行	た、こども家庭	医センターと情	報共有し、	子育		ンターの利用に												
	計	画	ることで包括的	的な継続支援	を行います	•														
	委員会 指摘事項																			

	No. 23 —	5 基本事務事	業名を健康	· 増進事:	<u>*</u>	事務事	業名 2	各種検診等	事業		公的関与	1 シ	·一卜作成日	令和6年	6月6日
	部局名		康福祉		課名	健康推			果長名	這	」野 貴子				即悟史
		① 1 ソフト ② ② ② ② ② ③ ② ③ ② ③ ② ③ ② ③ ③ ③ ③ ③ ② ③ ③ ② ③ ③ ③ ② ③ ② ③ ③ ③ ③ ③ ② ③ ③ ③ ③ ② ③ ② ③ ② ③ ② ③ ③ ③ ③ ③ ② ③ ③ ③ ③ ③ ② ③ ② ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ② ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ④ ③ ④ ③ ④ ③ ④ ③ ④ ③ ④ ③ ④ ③ ④ ③ ④ ③ ④ ③ ④ ④ ④ ④ ④ ④ ④ ⑤ ④ ⑤ ④ ④ ④ ⑤ ④ ⑤ ④ ⑤ ④ ⑤ ④ ⑤ ④ ⑤ ④ ⑤ ④ ⑤ ④ ⑤ ④ ⑥ ⑤ ⑤ ⑤ ⑤ ⑥ ⑤ ⑥			3 経常的事務			助金・負担金				☑ 1 世			部委託
	事業区分	0 2 11-15			4 施設の維持領			部管理事務		— 半羊	運営方法				助等
	_	基本構想(政					0 73	実施計		2			の開始・終了		in Fall At
	総合計画	基本計画(施					_	● 1 該当		令和	年		·和 年	一期問	設定なし
	小心口口凹	主要施策			<u>惊め光失</u> ೬·保健指導等 <i>0</i>	か主		○ 2 非該i	<u> </u>		l法令等	[]	TH T		以及ると
		対象(誰た			iたなステージに <i>J</i>		検診の					診の年齢	命の方)を対象に	こしていま	きす。
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的		·期発見·早期治療										
PL		たいのか)	今年度	ん)には	は市内医療機関で 通知します。			は集団・巡回	回の各種	重がん検診	を行い、検討	沙対象者	(肝炎・歯周疾患	患∙乳がん	⋰ 子宮頸が
A					<u> ハますか。(主な</u>	もの5つま	で)								
N		① 検診のお													
	事業の				、受診券と検診票										
	活動内容	③ 精密検査	が必要な	方へ、訪	問や通知で受診額	助奨を行って	ておりま	す。							
					・クーポン券の送付	付を行ってる	おります	0							
		0			を行っています。										
		指標名	3	計算式	又は指標設定理由	単位		令和	4 年	度	令和 5	年度	令和 6	年度	最終目標
		健康診査受診者数		受診者数	ד		目標			1		<u> </u>			
	(事業の目的	フレッシュ健診・基	- 本検診	~ D D N			実統		診者数	(33名		28			
	及び活動内	がん検診受診者	乾(単年度)	受診者数	文·対象者数		目相			1		<u> </u>		f	
	() () () () () ()	胃·肺·大腸·乳·		~ n			実統			6.37		6.4			
		がん検診精密検査 (単年度)胃・肺・ナ	は気診有学に腸・乳・子	受診者数	な・対象者数		目標			T		<u>_</u>		Ţ	
		宮がん				1+4	実統			79.2	/m /s+ /s- u	70.5		/D /st == 4	¥ #
	予算費目	会 計	1 ^	T		款		新生費 	/ //	<u> </u>	保健衛生		目 4	保健事業	美賀
		同生士山	令	和	4 年度決算		5	年度決		令和	•	<u> </u>		備考	
		国庫支出			87 千	_		154				00 千円	4		
		県 支 出	金		1,320 千I			1,219	千円		1,0)68 千円 千円	-		
D	直接事業費	<u>地 方</u> その他特定則	債 比海		1,019 千			998				300 千円	1		
0		一般財	源		20.465 +			20.600				800 千円	1		
		<u></u> 計(A)	//尔		22.891 1			22,971	千円			664 千円	1		
		正職員工数:	次费 3.0	062 人	18,502 1		,	18,555		3.000 人		358 千円	1		
	人件費(B)	会計年度任用職員				0.002			, , ,	0.000 /	17,0	111	1		
		会計年度任用職員工数		500 人	1.262 千	₱ 0.100		<u> </u>	千円	0.000 人		0 千円	†		
	全体事業	業費(A+B)	J.,	/\	42.655 ∓I			41,740		2.000)(43.5	522 千円	1		
	<u> </u>	(, (, () D /			12,000			11,710			10,0		ı		

				チェ	ツク項目					_	欠評価		_	-次評価の	D≣∯F	旧		二次		ī
		1.	市が実施しな主体があり、	くても、公立	平性・公正				0	少ない		大きい		る早期発			0	少ない		大きい
	必	2.	厳しい財政状						0	ない	•	ある					0	ない	0	ある
	要性	3.	住民満足度の向	上のために、	現在の手段	、方	法等の改善の領	 余地がある。	0	ある	0	ない					0	ある	0	ない
	1	4 .	住民ニーズの上回るサービ			隣自	治体と比較し	レてニーズを	0	いる	•	いない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	€現するために	、事業内容	が必	ずしも適切とに	 はいえない。	0	いえなし	· •	いえる		診の周知			0	いえない	0	いえる
	有	2. 4	事業内容のマンネ	い化など、施策	への貢献度な	が著し	く高いとはいえ	ない。	0	いえなし	\	いえる	ります。	引し、文部	华山	1工を図	0	いえない	0	いえる
C	効性	3.	市が実施する	施策の中で舞	類似・重複	した	事務事業が存		0	する	0	しない					0	する	•	しない
E		4.	事業の継続を	しても成果の	の向上が期	待て	きない。		0	できなし	• •	できる					0	できない	0	できる
CHECK		1.	目標設定に対	けして進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標によ	とべて劣っ	っている		イルス感染			0	目標に比り	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	けして成果がな	あまり上が	って	いないと思う		0	あまり上	がっていた	はい	あったた	団検診は丿 め、受診薬	の向		0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	けして概ね目標	票を達成し	てし	ると思う。		_	概ね達別			つながり	ませんでし	た。		0	概ね達成	してい	გ
	<i>'</i> ~	4.	目標設定に対	けして十分に目	目標を達成	して	いると思う。			十分達							•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高し	,۱۰				0	高い	•	適当		けることに			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	のノウハウ	や新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	できない	ことにより	、早期治療 リ、受診者	の身	体的負	0	できる	0	できない
	率性	3.	予算・人員と	: 成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余均	 也がある。	0	ある	•	ない		ぱにつなぐる ては、医療			0	 ある	•	ない
	-	4.	電子化や契約	方法の変更な	などにより	コス	ト削減の余均	 也がある。	0	ある	0	ない	もつなが				0	 ある	0	ない
					— <u></u>	欠評	価							=:	次評	価				
	評値	 新占	必要性	有効性	達成度	Ę	効率性	総合評	価		必要性	ŧ :	有効性	達成原	Ę	効率性	生	総	合評	価
			4 ○ ± ± - ☆	4	│ 4 ⊹%#+±	$\overline{}$	4	A	て生		<u>4</u>	- 太中	4	4 ⊬%#+±	$\overline{}$	4 :+∋bà	<u> </u>	○ 民 間	<u>A</u>	工
		後の 句性	○ 拡大·充○ 縮小	実 ○ 現物			方法改善 廃止/休止	○ 民間委託	<u>で守</u>			<u>∵充実</u> ○	│ ③ 現∜ 統合/終			<u>方法改</u> 廃止/休		O KIE	少	T守
A	731	.) IT	○ 小日・1・				元二/				<u> </u>		な評価での					の相違点	į	
ACTIO			各種検診で、 維持に務めて			¯。若	い世代から健	康に関心を持	ち、優		民の健		の向上を図							 治療につ
Ň		草案 実行 画	市民の健康意を図ることで、					か性について普	 下及啓	で 発	げ、医療	禁費の削	減に努める	ます。						
		員会 事項																		

	No. 23 —	6 基本事務事	業名 健原	東増進事業	業	事	務事業	名ヘル	レスメイト事	業		公的関与	1 3	シート作成日	令和6年	6月5日
	部局名		康福祉	部	課名	健.	康推進	課	主務課	長名		河野 貴子	シ	一ト作成者名	久家	家 優希
	事業長八	○ 1 ソフト	事業	0	3 経常的事務	务事業	O 5	補助金	金·負担金·	支援	<u> </u>		V 1	直営	□ 3 全	部委託
	事業区分	○ 2 ハード	事業		4 施設の維持		0 6	内部管	雪理事務• -	その作	也	運営方法	2	一部委託	□ 4 補	動等
		基本構想(政	策) 1.				•		実施計画	<u> </u>				業の開始・終う		
	総合計画	基本計画(施	策)(1)	保健•医	療の充実			0	1 該当		令乖	口 年	~ 4	令和 年	☑期間	設定なし
		主要施策			の健康づくり	活動の	促進	O	2 非該当		根	拠法令等				
		対象 (誰た	市内に住	民票のあ	るおおむね40歳	歳以上σ	者、及7	び養成詞	構座修了者 <i>を</i>	を対象	まとする。					
		目的(どうい う状態にし	最終的		善推進員として											
PL		たいのか)	今年度	を行う。	活習慣病予防				は、自分の健	康は	自分で守	もという意識	戦を持ち、	家族や地域に	広げていけ	るように活動
A					いますか。(主		つまで	:)								
N					要な知識を学習											
	事業の				、食育の推進を											
	活動内容				主活を見直す機				へ普及活動	を行う	う。					
					₹生活・運動・休											
					ī民が主体にな			への支								
		指標名	<u> </u>	計算式又	スは指標設定理	由	单位		令和	4 年		令和 5	年度	令和 6	年度	最終目標
	数値目標	健康についての意	識∙知識∙	教室への	参加人数			目標			200		20	_	200	
	(事業の日的	保健行動の変化		,,, <u> </u>				実績			105		11			
	及び活動内	啓発•普及活動		地域住民	つの普及人数			目標			2000		300	_	3800	
	容の達成度 を測る指標)							実績			2961		368	7		
	CW10101W/							目標								
	マケボロ	<u> </u>						実績			7.3					
	予算費目	会 計		1n	(左座為	佐 し	款		年度決算	4	項	· · · · · ·	度予算	目	備考	
		国庫支出		<u>和 4</u>	4 年度決	好 T 千円	<u> </u>	5		】 一円	令和	6 年	<u>- 没 </u>	7	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
		<u> </u>	<u>亚</u> 金		74				28 Ŧ				336 ∓₽			
	-	点 	 債			千円				-円			- 530 TT 千円	_		
D	直接事業費	<u>ルーク</u> その他特定則				千円				-円			<u>' '</u> 千円	-		
O		一般財	源		42				115 T				169 千円	=		
		<u></u> 計(A)	nin		116				143 T				505 千円			
		正職員工数・総	本費 0	.400 人	2,417).400 J		2,424 ₹		0.400	J 2	,381 千円	_		
	人件費(B)	会計年度任用職員						,	_,		21,100	,	,			
		会計年度任用職員工数	:経費	人	0	千円	J		0 +	円		Λ.	0 千円	=		
	全体事業	業費(A+B)			2.533				2.567 ∓				.886 千円	_		

																_			
					ック項目					一次	評価			·次評価の				欠評化	西
		1.		なくても、公 ³ 事業を廃止					少な	はい	● 大き	ر،	進のため	には、食生	や食育の排 E活改善推	進	○ 少ない	•)大きい
	必	2.	厳しい財政制	犬況の中、次年	丰度以降実	施す	る緊急性が認	忍められない。	○ ない	١	ある		員の必要	性は高くな	ぶっています	す。	○ ない	•) ある
	要性	3.	住民満足度の同	句上のために、	現在の手段	、方	法等の改善の余	余地がある。	<u></u>		の ない						<u></u>	•) ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってし		隣自	治体と比較し	ンてニーズを	いる		● いな	い					いる	•)いない
		1.	施策の目的を調	実現するために	、事業内容	が必っ	ずしも適切とは	はいえない 。	○ <i>い</i> え	ない	いえる	3	住民自身習得し. そ	が健康に	関する知識 を食生活	後を	○ いえない	•)いえる
		2. 🗄	事業内容のマンネ	ネリ化など、施策	への貢献度が	ぎし	く高いとはいえ	ない。	○ <i>い</i> え	ない	いえる	3	善推進員	として、自	分の身近7	な	○ いえない	•) いえる
CH	効性	3.	市が実施する	る施策の中で類	類似・重複	した	事務事業が存	存在する。	する		しない	۸,	の健康づ	くりの推進	、住民主は につながっ		○ する	•	しない
E		4.	事業の継続を	をしても成果の	の向上が期	待で	きない。		○ でき	ない	○ できる	3	ています。	0			○ できない	•)できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		○目標	に比へ	べて劣ってい	·る			として、家庭		○ 目標に出	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゙゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	劣っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果がる	あまり上が	って	いないと思う	5.	○ あま ¹	り上がっ	っていない		ます。また	上、全国食	生活改善技	隹	○ あまり上が	バってロ	いない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	票を達成し	てい	ると思う。		概ね	達成し	ている		進協議会 育活動に		も参加し、: こいます。	食	概ね達成	えしてに	いる
		4.	目標設定に対	対して十分に目	目標を達成	して	いると思う。		〇 十分	達成し	している						● 十分達成	붗して!	いる
		1.	効果に比べて	てコストが高い	,\ ₀				○高い	1	◎ 適当	i			するために 活動を自		○高い	•)適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウ ⁴	や新たな制	度を	活用できる。		○ でき	る	◎ できた	ない	的に積極	的に行って	ていく必要が	が	○ できる	•) できない
	率性	3.	予算・人員と	ヒ成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	也がある。	<u></u>		● ない		ることから	が難しい	の減少もな 犬況にあり	ま	<u></u>	•) ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更な	などにより	コス	ト削減の余地	世がある。	<u></u>		● ない				こ努めると		<u></u>	•) ない
					一 岁	欠評化	西						1 +11. 		欠評価	1111			
	評估	# 4	必要性	有効性	達成度		効率性	総合評	価	业	要性	1	剪効性	達成原		率性	E 糸	総合言	評価
			4	4	3		4	Α		_	4	<u> </u>	4	4		4		A	-
		後の	○拡大・充				方法改善	〇 民間委託	等		拡大・充		● 現状		○ 方法			<u> </u>	託等
A	万师	9性	〇 縮小	○ 統合/終	閉設足	01	廃止/休止			\cup	縮小		統合/終		〇 廃止			<u></u>	
C										_	-	<u>二次</u>	評価での	指摘事項	及び一次	て評値	西との相違	<u>点</u>	
Ţ		面の	会員数の減少	りや高齢化によ	り、地域での	の普	及啓発活動 <i>の</i>)低下が課題で	す。										
10	詸	題								l									
N	¬L +	+		<u> </u>			614				一人一人 援に努め			域での活	動が行え、	市民	の健康増進	につ	ながるよう
TV.		車案		₹づくりの柱とな その充実などを						ľ	及しづび	ム り	0						
	計			うな環境づくり				シロエロルとかい	ノ心ガに										
		<u>一</u> 員会																	
	指摘	事項																	

_																	
	No. 23 —	7 基本事務事	業名 精神	申保健事業	Ř	事務事業名		设予防事業		公的関与		4 シート作成日		6月6日			
	部局名	健康福祉		部	課名	名 健康推進語		主務課長	名 河野 貴子		シー	ート作成者名	河爿	- ちひろ			
	事業長八	● 1 ソフト	事業	0	3 経常的事務事			金•負担金•支	援	* \= 24 \+	1 直	営	□ 3 全	部委託			
	事業区分	0211-1	事業		4 施設の維持管			内部管理事務・その他		——		-部委託	□ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政	策) 1.					実施計画	,	事業の開始・終了							
		基本計画(施			療の充実		O	1 該当	令:	令和 年		·和 年	□期間	設定なし			
		主要施策			感染症対策の	推進		2 非該当		拠法令等	自殺対策						
	事業の 対象・目的	対象 (誰た			で発活動などを												
		目的(どうい う状態にし	最終的	後的 市民等の自殺予防に対する正しい理解や意識の向上を図り、自殺者の減少に努めます。													
PL		たいのか)	今年度	若年層に	自殺予防に関する	る正しい知言	哉の普及	や理解が深まる	るように努め	かます 。							
A					ヽ ますか。(主な ・												
N					検診時等の集団の				ット等の配っ	布を行い、正し	」い知識σ)普及を行いま	す。				
	事業の				について講話を												
	活動内容		-パー等(の研修会を	- 行うことで、地域	での自殺予	防活動に	こつなげる。									
		4															
		5															
		指標名		計算式又	スは指標設定理由	単位		令和 4					年度	最終目標			
	数値目標	市民の自殺対策に	対する意	普及啓発		人	目標			1800 2000 1800 2000							
	(事業の目的	識の向上					実績		1800	1800			_				
	及び活動内						目標										
	容の達成度 を測る指標)						実績										
		会計					目標										
	マケボロ			6 П.	∧= 1	± <i>b</i>	実績 4 衛生		 項		上 走		v≠ ++ /□ /2	本丰 # #			
	予算費目	会 計		一般 ·和 4		款		<u>±賃</u> 年度決算		1 保健衛生	<u>±箕</u> 度予算	目 7	精神保健備考	E 争 未 負			
		国庫支出		<u>'和 4</u>	<u>年度決算</u> 千F	令和	5	<u>干及沃昇</u> 千円	令和	6 年	· <u>及 </u>		1佣/与				
			<u>亚</u>	-	53 f F	_		58 千円			79 千円	1					
		<u> </u>															
D		その他特定財源				_	千円										
0		一般財源			255	_	261 千円			280 千円							
		<u> 計(A)</u>	7775	308 千円				319 千円			359 千円	-					
	人件費(B)	正職員工数・総	圣費 0.	125 人	755 ∓F		人	757 千円	0.125		744 千円						
		会計年度任用職員		,								1					
		会計年度任用職員工数	·経費	人	0	9	人	0 千円		X	0 千円	1					
	全体事業	業費(A+B)			1.063 ↑ F	9		1.076 千円			103 千円	1					

		チェック項目							一次評価				一次評価の説明				二次評価			
	必要性	1.	市が実施しな主体があり、	0	少ない	0	大きい	今後、自殺者を出すことがない ように、自殺予防に対する意識				0	少ない	● 大きい						
		2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。							•	ある	を高め、正しい知識の普及を行 うことは必要です。					ない	•	ある	
		3.	住民満足度の向	0	ある	0	ない	ノにこは必安じり。					ある	•	ない					
		4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。						いる	•	いない)いる		いない	
	有効性	1.	施策の目的を実	現するために	、事業内容が	が必ずしも適切。	0	いえない	0	いえる		現状を常コーチの方		0	いえない	•	いえる			
		2. 4	事業内容のマンネ	リ化など、施第	でへの貢献度が	0	いえない	0	いえる	ら、アプローチの方法や年代等 を見直していく必要があります。					いえない	•	いえる			
C		3.	市が実施する	0	する	0	しない				0	する		しない						
E		4.	事業の継続を	0	できない	0	できる				0	できない	い ② できる							
CHECK	達成度	1.	目標設定に対	0	目標に比	べて劣	っている	継続して実施することで、自殺者 の増加を防ぐことにつなげます。					○ 目標に比べて劣っている							
		2.	目標設定に対	0	あまり上た	バってい	ない	- 107 1日加で	の培加を防くことにつなけます。					○ あまり上がっていない						
		3.	目標設定に対	0	概ね達成	えしてい	გ						○ 概ね達成している							
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。						十分達成	もしてい	る						● 十分達成している			
	効率性	1.	. 効果に比べてコストが高い。							•	適当		事業等を十分に活用しながら、 効率的な普及啓発に努めます。				高い	•	適当	
		2.	他の実施主体	0	できる	0	できない					0	○ できる		できない					
		3.	予算・人員と	0	ある	0	ない					0	ある	•	ない					
		4.	電子化や契約	方法の変更	0	ある	0	ない				0	ある	•	ない					
	一次評価													次評·						
	評値	西点	必要性 4	<u>有効性</u> 4	達成度		総合評	7価		<mark>必要</mark> [4	生	有効性 4	達成B 4	支	<u> </u>	生	総	合評 A	価	
	今征	 後の	○拡大・充		_		〇 民間委託	托等	0		 、充実	● 現物		$\overline{}$	<u>-</u> 方法改割	· •	〇 民間		 〔 等	
A	方「	句性_	○縮小	○ 統合/約	以期設定	○ 廃止/休止			0	縮力		統合/終			廃止/休					
C			┃ ┃市民全体に対し、自殺予防対策に関する普及啓発活動を継続していける						sı- —		二次	(評価での)指摘事項	夏及で	<u> 「一次評</u>	一次評価との相違点				
ACTIO						対して、普及啓発活動に努める必要がありま					と連携を	・図りながら、今後も様々な場面において自殺予防に対する							する対	
N	と多	革案 実行 ·画	様々な機会にる発を行います。	普及	する	する普及啓発活動に努めます。														
		員会 第 事 項																		